



但馬中学校総合体育大会近し！

7月6日(土)より、運動部活動の生徒にとっては最も大きな大会である但馬中学校総合体育大会(但馬総体)が始まります。但馬総体は、勝ち続ければ県総体、近畿総体、全国総体と続きますが、敗れた時点で3年生の引退が決まりますので、中学生にとってはとりわけ思い入れが強い大会と言えます。

また、これまで支えてこられた保護者の皆様にとっても思い入れの強い大会であり、特に3年生保護者は、“なんとか有終の美を飾ってほしい”という熱い思いがこみ上げてくるものと思われます。どうぞ精一杯ご声援ください。

ただし、今年度の但馬春季大会(通称オープン戦)の際に、ある種目の競技会場で流れた以下のアナウンスを思い起こしています。

“保護者の皆様が選手に対してプレーに関する指示を出すことは禁止していますのでご留意願います”

このアナウンスを耳にした時に、「至極当然のことであり、わざわざアナウンスするようなことではないのではないか。」と思いました。しかしながら、背景には、保護者がプレー中の選手に指示を出す行為が散見し、そのことが大会運営上支障になっている事実があるとも言えます。選手を応援したいがあまり、ついつい気持ちが高揚してしまうことは分からないでもありませんが、応援の在り方については各チームで注意が必要です。



以下に、過去の部活動の大会で保護者が問題となった例を紹介します。

- ・コート内やベンチに立ち入る。
- ・競技中の選手にコート外から話しかけて試合が止まる。
- ・審判の判定に対して不満の声を上げる。
- ・大声が相手チームのプレーを妨害してしまう。
- ・鳴り物を使った応援により、監督(顧問)の声が選手に届かなくなる。



部活動の応援は、自チームにとっても相手チームにとっても爽やかであるべきものです。主役である中学生が自軍・敵軍に関係なく思う存分に力を発揮できるような節度ある応援をどうぞよろしくお願いします。



6月の全校集会

6月10日(月)、全校集会を実施しました。校長講話として以下のような話をしました。

※1年生「わくわくオーケストラ教室」、2年生「トライやる・ウィーク」、3年生「修学旅行」を総括した後

“1学期の大きな行事が終わりました。1学期後半に頑張してほしいことはやはり『授業』です。先日、慎独の道の脇で草取りをしていた時に、たまたま通りかかった生徒とこんな会話をしました。

『頑張っている？(校長)』

『はい、頑張っています。(生徒)』

『どんなことを頑張っている？(校長)』

『体育を頑張っています。(生徒)』

『そうか、体育が得意なんやね。(校長)』

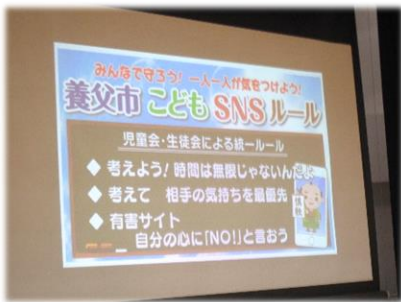
『いいえ苦手です。苦手だからこそ体育を頑張っているんです。(生徒)』



私の中学時代は苦手なことから逃げて過ごしていたのに、『苦手だからこそ頑張っている』というこの言葉から大切なことを教えられたように気がします。また、自分の考えはたいへん浅はかであることが分かったような気がします。皆さんと同じ八鹿青溪中学校の生徒の話ということで紹介させていただきました。参考にしてください。”

SNS 利用に関する指導

今回の全校集会では、生徒指導担当より SNS 利用に関する指導も行いました。下のグラフは、八鹿青溪中学校におけるSNS実態調査の一部です。



スマホ、PC・タブレット、キッズ携帯、ゲーム機などの生徒所持率がたいへん高く、その利用のために就寝が深夜になっていないかといへん心配しています。また、SNS利用に没頭しすぎて、日々の学習をいい加減に済ませていないかという心配もしています。さらには、視力の低下等、健康を害するような事態に陥らないかとも心配になります。生徒には、「養父市子どもSNSルール」についての説明

をさせていただきました。ただし、校報「八鹿青溪」第6号でもお伝えしましたように、SNSを与えているのはそれぞれのご家庭ですから、その結果についての最も大きな責任を問われるのは“保護者”です。各ご家庭で明確なルールを設定するなど、子どもをSNSの負の面から守る取組が極めて重要となります。

